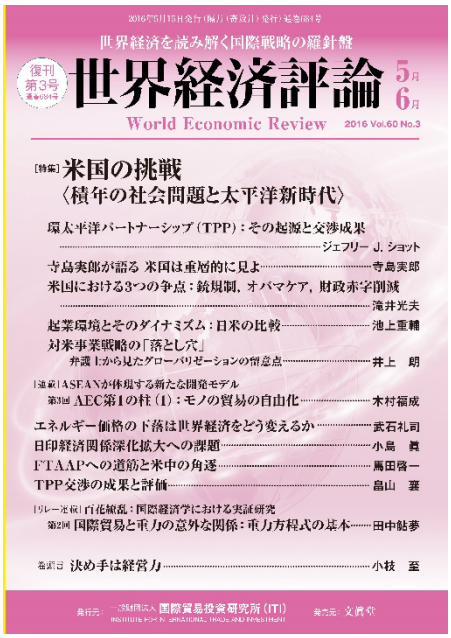
Back Number

本論文は

世界経済評論 2016 年 5/6 月号

(2016 年 5 月発行)

掲載の記事です


2016年5月15日発行（隔月）（普及価）発行／通巻684号

世界経済を読み解く国際戦略の羅針盤

復刊 第3号 通巻684号

世界経済評論 5月 6月

World Economic Review 2016 Vol.60 No.3

[特集] 米国の挑戦
〈積年の社会問題と太平洋新時代〉

環太平洋パートナーシップ（TPP）：その起源と交渉成果 …… ジェフリー J. ショット

寺島実郎が語る 米国は重層的に見よ …… 寺島実郎

米国における3つの争点：銃規制，オバマケア，財政赤字削減 …… 滝井光夫

起業環境とそのダイナミズム：日米の比較 …… 池上重輔

対米事業戦略の「落とし穴」
弁護士から見たグローバリゼーションの留意点 …… 井上 朗

[連載] ASEANが体現する新たな開発モデル
第3回 AEC第1の柱（1）：モノの貿易の自由化 …… 木村福成

エネルギー価格の下落は世界経済をどう変えるか …… 武石礼司

日印経済関係深化拡大への課題 …… 小島 眞

FTAAPへの道筋と米中の角逐 …… 馬田啓一

TPP交渉の成果と評価 …… 畠山 襄

[リレー連載] 百花繚乱：国際経済学における実証研究
第2回 国際貿易と重力の意外な関係：重力方程式の基本 …… 田中鮎夢

巻頭言 決め手は経営力 …… 小枝 至

発行元：一般財団法人 国際貿易投資研究所（ITI） INSTITUTE FOR INTERNATIONAL TRADE AND INVESTMENT 発売元：文眞堂

世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料
1,320円×6冊=7,920円 ▶ 6,600円 税込

17% 送料無料 OFF

富士山マガジンサービス限定特典

定期購読期間中 デジタル版バックナンバー ※通巻682号以降 読み放題!!

世界経済評論　定期購読

[24時間・年中無休]
0120-223-223

お支払い方法
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp 雑誌のオンライン書店

湯澤 三郎

オペレーション・ホープ

「ジョン・ホープ・ブライアントの50歳の誕生日に，ビデオ・フラッシュのサプライズを贈りたいのでtributeに招待したい」というメールが飛び込んできた。見事な手順ガイドは，古代ガラケー派の私には感嘆するばかりだ。

「ほう，ブライアントも50歳になったのか」

ブライアントは1992年4月に発生したロサンゼルス暴動が生んだ焼け跡のヒーローだった。所属教会のマレー牧師の説教が，26歳の黒人青年の義侠心に火を点けた。「If not now, so when? If not you, so who?」直ちに彼は地元金融機関を駆け回り，被災者救援基金を立ち上げた。ほどなくして，地元紙のみならずニューヨーク・タイムズや有力週刊誌に「罹災者再建へ第1歩」の見出しとともに，笑顔の食品店主と握手するブライントの大きな写真が躍った。州，市に先駆けて融資を実現した，NPO「オペレーション・ホープ（O.H）」の輝かしい船出だった。

O.Hは発足後25年間で25億ドル超の基金を擁し，全米28支所，海外では南アフリカなど4カ国の拠点を通じて，マイクロ・ファイナンス，ファイナンシャル・リテラシー教育，若者への起業トレーニングを行う屈指のNPOへと発展した。ボランティア2万2000人を動員して全米300強の都市で低所得層の人々向けに，マイクロ・ファイナンス150万件，ファイナンシャル・ディグニティー講座，起業研修などを実施してきた。

ブライアント自身も，クリントン，ブッシュ，オバマの3政権下で顧問に迎えられ，オバマ大統領の下では小委員会の委員長も務めている。リーマンショックのきっかけとなったサブプライム・ローンは，貧困層が金融システムの暗部で虐げられている実態を浮き彫りにした。まさにO.Hが取り組んできた活動に光が当たった。公的・私的団体を問わず，彼が受けた褒章は500を下らない。2冊のベストセラー経済書も著わした。近著「How the Poor Can Save Capitalism」は4カ国語に翻訳され，黒人が書いた初めてのベストセラー経済書と報じられた。クリントン前大統領は「貧しい人たちが施し（ハンドアウト）ではなく自力で（ハンドアップ）豊かになれると固い信念をもつ，アイデアと実行力を兼ね備えた41歳の風雲児」という賛辞を当時の彼に贈った。今やブライアントは押しも押されぬ全米リーダーの一人になった。

約3年前のO.H創立25周年シンポジウムで，彼がFRB議長と交わす議論に耳を傾けながら，高卒でホームレスも経験した黒人をここまで育てた米国の懐の深さを思った。

ロス暴動の後，バックグラウンドもない一介の黒人青年の情熱を信じて資金を拠出した地元の各銀行を，日本の銀行と思い比べずにはいられなかった。規制とは規則の改正で済むものではなく，資本や組織の論理を生活者の論理より無条件で優先させてしまう条理を見直すことなのだろう。

ビデオ編集チームの希望で語った「私の忘れ得ぬあの時」は，彼が率いるRe-build L.A.委員会の黒人チームとジェトロLAとのソフトボール試合。「借物のスマホは15秒しか撮れず，デジカメでOKと分かって撮るのも汗かいたよ」といつか話そう。私のITオンチを大笑いする彼の顔が見えそうだ。

ゆざわ さぶろう　本誌編集長。